

滋賀県環境審議会環境企画部会での  
「持続可能な滋賀社会ビジョンに関する主な意見

日時：平成 19 年 7 月 23 日

14:00 ~ 16:30

場所：別館 2 階大ホール

「ねらい」に関して

ビジョンは「県民生活の質の向上や新たなビジネスチャンスの拡大」をねらいとしているとのことだが、何が県勢の発展であり、県民生活の向上かは、一人ひとりの価値観に関わることでもある。便利さの向上と環境保全の折り合いをどのあたりでつけるのか示し、県民一人ひとりが考えて、行動に移せるものにして欲しい。

「2030年の滋賀の姿」に関して

「2030 年の滋賀の姿」の「気象」は、滋賀県の取り組みだけでは変えられないのでは。

「政策・施策」に関して

住民は何をすべきか、行政は何をすべきかを明確に提案することが大切。

対策・施策の実施にあたって、どの程度のコストがかかるのか。費用対効果の議論が必要。

今、地球温暖化に取り組まないと将来的に大きなコストがかかることは明白。将来のために今から投資する視点が大切。

一部の人や団体の熱心な取組に期待するばかりではだめ。多くの県民・事業者を持続可能な行動に向かわせるために、環境に配慮すれば報われるようなシステムや制度の構築が必要。

農村では高齢化が進行し耕作放棄が深刻。地球温暖化が進行し世界中で農業に影響が出れば、食料自給率の低い我が国は致命的である。県レベルで耕作放棄地問題について対策を進めてほしい。